

1.弘前城(青森) 弘前市下白銀町 1

津軽を統一した津軽為信（つがるためのぶ）が弘前藩を立ち上げた。そして1603年（慶長8年）に津軽地方を治めるために、新しく弘前城を築くことを計画。その後、2代目藩主・津軽信枚（つがるのぶひら）が、1610年（慶長15年）に弘前城の築城を開始し、翌年に完成します。江戸時代に築城されてからおよそ400年の歴史があり、津軽平野の中央西に築かれた平山城で櫓を改修して三層三階の天守が築かれた。天守の屋根は大雪が降っても割れることのない銅瓦葺きを使用しているが、この城は桜と岩木山が似合う。現在、石垣の老朽化による修理工事を進めています。（同パンフ）



弘前城の天守と内部、 規模(大きさ)は江戸城の富士見櫓と同じ程度



丑寅櫓(重要文化財)



二の丸 与力番所



東内門



中濠と石垣



石垣修復中



外濠と桜



外濠と桜と岩木山



幹回り日本一の桜の大木